

ある雨降りの日

4年 機械科

高橋 俊 充

その 1

Mr. T は朝食(トースト + ハムエッグ + ブラックコーヒー)を終えて仕事に出かける。マンションのカレージに入って新品の「流星号」に乗りこみ 頭上で風防をしっかりと閉じる。軽キヤを入れたて人々の感嘆するような視線を感じながら通りへ出る。手を伸ばして C.V.M(心臓・血管モニター)のスイッチを入れ 旧首都高速4号にマンションの目の前の笹塚インターから入ると自動的にスピードを上げながらゆるやかに左に曲がり特別車線「遷七」に入っていく。この車線は「流星号」のようなクルマの専用車線で完成してまだ新しいので非常に走りやすい。Mr. T は満足そうだ。雨雲が厚くなってきているが彼は気にもかけずにどんどんスピードを上げていき、メーターは 80 km をさしている。カーブで下の車線を見ると最近はどう見かけなくなってしまうシグマターボがアクセル「全開」の経済速度 60 km 程で走っている。シグマを追い抜いたら下に旧首都高速3号を見かけたあたりか

ら雨の粒が風防をホリホリたたき始めたが気体力学的なカーブを持たせてあるため、風防に水滴はつかない。C.V.M.は「すべて良好」と表示している。減速し下にMr.ドーナツ洗足店を見おろしながら右接すると彼の会社「大岡山株式会社」はもう近い。いっせながら正面に富士山がくっきりと見えるこの最終ロードが彼は気に入っている。が、今日は雨降りのため見えな。正門でヒゲの守衛さんに軽く挨拶すると100年記念館前で「流星号」を降りて駐車場の係員に渡し、彼はオフィスに吸い込まれていった。通勤時間はぴったり15分。昔、電車で通っていた頃は晴れの日でも30~40分かかっていたのだが、「流星号」のC.V.M.の表示は彼が心肺機能を完全に使って394.7カロリーを燃焼したことを示している。それ以外にはほんの少しも、ガリリンも電気も消費していない。「流星号」は自転車なのだ。

その2

午後3時 彼は「流星号」に乗り込むと朝とは逆の方向へと走らせた。笹塚のマンションに愛車を収納すると、急いでまた出かけていった。4時に新宿で待ち合わせをしているのだ。あいにく、雨のため京王線は運休している。(曇り雨の日

は太陽地震が起きないため、天候によって、京成、東急、東武、東武、小田急、西武、地下鉄、国電の順で運休するのだ。今日は小田急までの5社が運休だ。20分ほど待たされて、やっと新宿駅へ着いた。地下鉄駅は深く、地上へ出るには、さらに10分程 階段を上がる必要はない。エスカレーターは3年前に廃止になってしまった。

やや脈拍数を上げし地上人の様子を見た彼は目的地とは逆の方向へ駅前街道を歩きだした。しばらく歩いて橋のそばに着き止まると、彼は何かを探しているようだ。そしてそこに東京タワーを見つけると、驚きの表情を浮かべた。橋の下には線路が撤去された跡が残っていた。彼は目を閉じて、過去の記憶を思い起こした。うろ覚えになった甲斐も、東京タワーの塔が、かつての塔に走り、東京タワーには、その輪郭を示すように点々と灯がともっている。そんな想いを走るせ、そばに立つかじんでいた。

どのぐらい時間がたったのだろうか。数秒だったのか数分だったのか。彼は電車の音で、我に返ると、もう一度 はっきりとタワーを見つめ、もと来た道を待たせ合わせ場所である新宿西口地上派出所前へと歩いていったのである。

その3

2,30年前、イラン・イラク戦争というのが起こった。それによって IJPC に失敗してしまった三井物産は 資本金の問題で政府との折合いを悪くしてしまい 三井系は ことごとく倒産してしまった。トヨタ しかり、東芝 しかり (東芝の場合は社員 M 氏による モーターの設計ミスによる影響も大きかった) ただ ソニー だけは 西口新社長の下で 流石と 営業していた。WALK MAN 以後、新製品が 出しても出しても当たらず、つぶれかけた SONY は 西口氏による HIT 作品「CYCLING MAN」に 救われたのだった。これは ただ 自転車に ラジカセ を のっけて ダイオード バッテリー を つなげて、速度に 関係なく 聞ける という もの だったが 世は まさに 自転車の時代。そして「CYCLING MAN」を 商標登録して しまった という 強みで、その 製品名 の センスの 悪さ にも かかわらず 売れた わけだ。これによって 彼は 新社長 になったのだ。

石油事情 悪化 により 自動車メーカーは ほとんど つぶれて しまっていた。トヨタは 完全に 破産、日産は かつてに 30% 部門のみが 奮起している。東洋工業は 最期の 作品 RX-7 47 を パリとせず ほとんど つぶれ かけている。それらに 変わって 伸びて きたのが 自転車産

業である。その中でもシマノは今日、日本を代表する企業に成長している。

トヨタの倒産とともにつぶれかけたヤマハは、二輪も作っていたため難をまぬがれた。バイクのエンジンを外すとすぐに自転車を作ってしまったのだ。他にもバイクメーカーはあったがヤマハは国内第3位の自転車メーカーになっている。ここまで強くなったのには鈴木氏の貢献があったからこそである。彼はヤマハ自転車のおまけとして「うなぎパイ」をつけることを提案したのだった。それが激しい販売競争の中で当たり、ヤマハの自転車はある程度売れた。

シマノ、ヤマハ等、日本の自転車は世界中に広まり、過去の自動車と同様に各国との経済の摩擦係数(Me)は上昇する一方だ。日本は他国からのたばこの輸入量を多くするために、外国たばこの値段を大幅に下げることが要求された。そこに厚生省の圧力が加わった。これ以上国民にたばこを吸わせてはいけない。国としても国民の健康を考慮すべきだ、ということになり、専売公社の反対にもかかわらず、結局、国内たばこを外国たばこ並みの価格に引き上げるということで話はまとまったのだ。

その4

Mr. T は 待ち合わせ場所に 5分程遅れて到着した。が、そこにいたのは 山口氏と金井氏だけだった。

「あれ？ あとの2人は？」

「まだだよ」

(やっぱり サイクリング部 だなあ) と思いつつ待つことさらに5分。永見氏が現われた。

「途中でパンクしちゃったんだよ。それも2回もだよ。葛名と綱島で。やっぱり雨の日はパンクが多いんだよなあ。」

さらに10分程で西口氏が頭をかきながら

「ワリーワリー」

と、全員そろったところで5人は西へ向かって歩き出した。

何本もの高層ビルが林立してはいるのだが、実際に使用されているのは、どれも10数階までだ。三井ビルは完全に廢虚となっており、どうやって壊されたのか、側壁には1個が数個もある文字で「政府は三井関をつぶす気か!」「三井物産に愛の手を」などと書かれている。

5人は住友ビルへ入るとビル中央の気圧式エレベーターに乗り、⑤のボタンを押した。約5分後、エレベーターは50階に着いた。住友ビルは中央部が空洞ふきぬけのビルだったため、そこにエレベ

一ターを取り付けることができたのだった。そこから階段でさらに上り 展望台へ行くと ここで他の5人と合流し、目的地である セントラルパークへ入っていた。

計10人で酒を飲み、時がたつのも忘れて話こんだ。計1時間半で彼らは帰ることになった。時計を見ると 5時46分だ。

「間に合うかなあ」とみんなつぶやいている。

「終電までは まだまだあるぜ」。2次会 行こうぜ」と金井氏が言った。

「オレはチャリンコだから平気だよ」と永見氏が、酔った顔つきで一言。

2次会に行くことになった 5人(金井氏、永見氏、西口氏、山口氏、それとMr.T)は歌舞伎町へと向かった。彼らは「北の蛮族」に入ると 飲みなおした。

「そろそろ帰ろうぜ」

「オレはチャリンコ---ムニャムニャ」

「いや、今日は終電まで飲もうぜ」

結局、終電で帰ることになった。店を出ると、ほとんど人通りもなくなって閑散としている。西口氏と金井氏は国鉄で、残りの3人は地下鉄で帰ることになった。再会の約束をして別れた後、3人は 新宿三丁目の地下鉄駅へ急いだ。

やつとのことで 7:58の終電に間に合った。

「あーあ、終電になっちゃったぜ。」

「今日、昼間 雨降ってただろう。」

「笹塚まで いくらかかるかなあ。」

「基本料金が 8 円 だろう。まず 曇天割増が
2 倍、夜間割増(6 時以降にかかる)が 10 倍 だろう。
終電割増が 5 倍、 オイ 100 8 円 だぞ。」

「歩いて帰りたいところだけど、この 酔っぱらい を
かっいで 1 時間 じゃ 無理 だろう。」

「まったくだ」

「戒厳令で 9 時 以降は 歩いて られない から なあ。」

マンションに着いて 水を飲ると、永見氏の酔
いも少しは 醒めたらしく、

「あい。懐かしい テープ 持ってきたんだ。聞こう
ぜ。」とノ本の カセット を取り出すと ラジカセ に入
れて スイッチ を押した。

「♪ 雨の降る夜には ヒリージョエル なのか？」

スピーカーからは 今はなき 八神純子の 曲が
流れてきた。

「えらい 古い やつ だなあ。音が 消えかかてるぞ」

「まあ、そう言わずに かけとけよ。」

水色の雨、思い出は 羨しすぎて、エンドレスサマー
甘い生活…… パープルタウン と かかり、飾、ブルー
が 流れている 時 だった。突然、聞こえなくなっ
て しまった。

「おい どうした、頑張れ」

と永見氏はラジカセをたたいたがだめだ。

「今日は雨降ってただるう。だからあんまり充電されてないんだよ。もう寝るしかないぜ」。

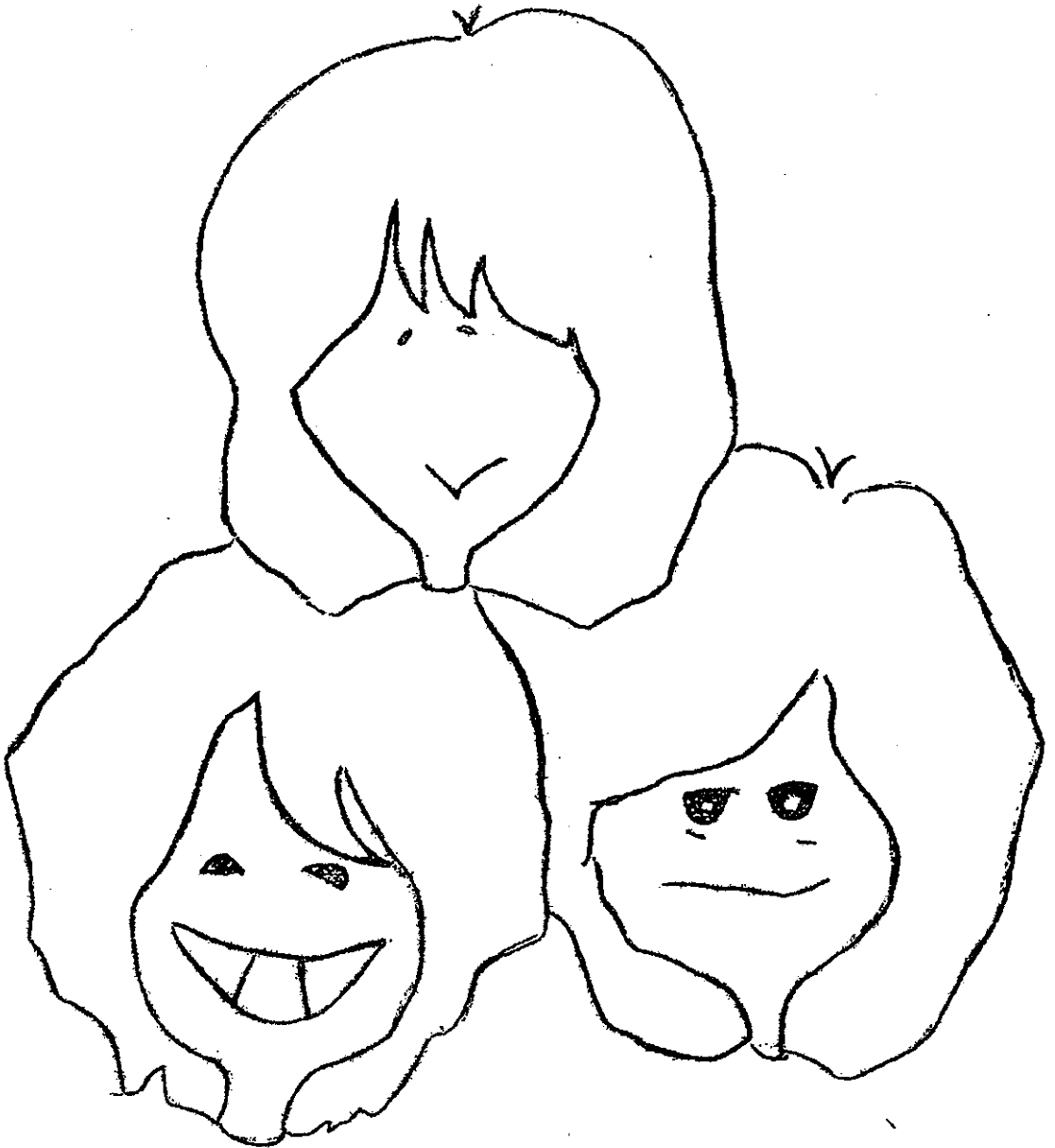
「明日は起きたら昼たろうなあ」

と、ということで3人は寝ることにした。

Mr.Tはベッドに入るとラークマイルドを吸いながら考えていた。

(今日は長年の夢がかなってよかったなあ。オレ一度でいいから青短と合コンしたからたんだよね)

登場人物に似たような人がいたとしてもあんまり関係はありません。



CANDIES

FOR EVRE